

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 伊藤 智亮
所属 (School) 工学域 電気電子系学類
学年 (Grade) 1

留学先 (Name of overseas institution)
マレーシア工科大学
留学期間 (study abroad period)
2/18~3/5

記入日 (Date) 3/6

留学レポート Study Abroad Report

約2週間、マレーシア工科大学へ語学研修に行ってきました。私自身、3度目のマレーシアだったので大して不安はなかったですが、現地の人たちは基本的に時間にルーズなので慣れていく必要がありました。また、マレーシアの公用語で英語が用いられていますが、訛りがかなりあり、英単語もイギリス英語が使われているので、時々通じなかったり、聞き取れなかったりしました。しかしマレーシアのバディーも教授(先生)皆やさしく、大らかな性格の人が多かったののでしっかり伝えようと思えば聞いてくれます。私たち向けの授業は全て英語ですが、難しい単語や内容ではなかったので、英語での授業に慣れるためにはちょうどいいレベルであると思います。マレー語、マレーシアの経済やビジネス、そしてプレゼンテーションの作り方および発表などを学ぶことができました。特に、プレゼンテーションの授業は、最終授業に実際に英語でプレゼンする機会がありました。準備する期間が短く完全な内容に仕上げるのは難しかったですが、英語でプレゼンしたことによって自分の言いたいことを表現する力がついたと思います。7~10分ほどのプレゼンでしたが、行っているうちに慣れてきて少し楽しむことができました。

次に食についてですが、基本的にどの料理もめっちゃくちゃ辛いです。トムヤムクンやアサムラクサなどは口から火が出そうなくらい辛く、適応するのに時間がかかりました。ただ、辛い物ばかりではなく、ナシゴレンのようなチャーハン風の料理などもあるので食については困ることはありませんでした。東南アジア特有のドリアンやマンゴ、ココナッツを味わうことができました。ドリアンは強烈に臭いので要注意ですが、一度は絶対味わうべきフルーツです。どの料理も日本円で300円で食べることができるので、様々な食べ物を試しましたが、日本人の舌には辛すぎたり、甘すぎたりと味覚の違いを実感しました。

マレーシア工科大のバディーには様々な場所に連れて行ってもらいました。ジョホールバルの街中で開かれているナイトマーケットでは様々なフルーツが売られていて、それらを購入してその場で食べたりしました。市場の雰囲気は日本とはかなり違う印象があります。安価で様々なものを購入することができるので興味深かったです。

また、博物館ではマレーシアの歴史について深く学ぶことができました。中国、日本による影響が多く、過去100年程度の生活道具が展示されていて、歴史の流れ、生活環境などを知ることができました。

マレーシアでは英語が公用語とされていますが、実際の生活ではマレー語が圧倒的に多く、訛りもあるために聞き取ることが難しかったですが、普段英語を使わない私たちにとってはこの上ない機会となりました。この経験が今後につながるよう、頑張って英語力を向上していきたいと思います。

